

2019 年度特定共同研究申請書

1.応募領域 (丸を付けてください) 古代史料領域 中世史料領域 近世史料領域 海外史料領域 複合史料領域
2.申請課題名 モンスーン文書・イエズス会日本書翰・VOC文書・EIC文書の分野横断的研究
3 新規・継続の別 (丸をつけてください) 新規 継続
4.申請者 特殊史料部門・准教授・松方冬子
5.所内共同研究者 特殊史料部門・准教授・岡美穂子 特殊史料部門・助教・岡本真 近世史料部門・助教・水上たかね
6.希望する研究期間 2019年度～2021年度 (3年間)
7.課題の概要(400字程度) 本研究では、エスタード・ダ・インディア、イエズス会、オランダ東インド会社(VOC)、イギリス東インド会社(EIC)という、広域的で非(あるいは半)国家的な組織の、おもに17世紀に本部とアジア拠点間で取り交わされた情報について、内容だけでなく、史料学的な観点からも、多角的な検討を加える。従来、南欧語史料はおもにキリスト教布教史研究のために、オランダ語・英語史料はおもに貿易史研究のために用いられ、それぞれ別々の研究者によって担われてきた。しかし、近年、双方を視野に入れた研究が出始めている。こうした状況をふまえ、本研究は、ひろく会計学、西洋史、東洋史、宗教史等の研究者の参加を求め、明清交替、17世紀インド洋地域のポルトガル・オランダ・現地勢力など共通のテーマについて少人数の密接な討論を行うことにより、そのような方向性を一層推し進める。その成果として欧文史料読解のための入門書を編集し、共同研究終了後も研究者層の厚みを加えることを目指す。
8.研究の目的(400字程度) 東京大学史料編纂所は、多くの欧文史料のマイクロフィルムやデジタル画像のコレクションを有しており、グローバル化する世界の中で、今後ますますの活用が望まれる。しかし、今まで、「日本」に直接関係する史料のみに注目が集まり、(南欧語史料はカバーする時期の短さゆえに、オランダ語史料は日本社会との接触局面の狭さゆえに)活用に限界があると考えられてきた。結果として、利用する研究者数が少なく、実際に利用されている史料はごく一部だと考えられる。しかし、近年の研究動向によって新しい問題群に光が当たり、これまでにはない形での活用も可能になってきた。 また、欧文の一次史料を用いた研究をさらに促進するためには、海外史料室に蓄積されてきた、史料読解のための学知を可視化し、広く一般に普及することが資すると思われる。 そこで本研究では、課題名に掲げた文書のなかでも、あまり利用されてこなかったものに

とくに注目し、それを分野横断的に討議しつつ、あわせて初学者にも理解できるように史料読解の方法を明示的に示すことで、研究の活性化を図る。

9. 共同利用・共同研究として進める意義と期待される研究成果(400字程度)

東京大学史料編纂所は多くの欧文史料のマイクロフィルムやデジタル画像のコレクションを有しているだけでなく、欧文史料を専門とする常勤研究者が複数勤務する、数少ない研究所である。その蓄積された工具書を含む学知を広く共有することで、研究の一層の促進を図る。

英蘭語史料／南欧語史料を用いる研究者、日本史／東洋史／西洋史／会計史／宗教史研究者が一堂に会するような学会、研究会は、意外と限られているのが現実である。本研究では、史料を一にするという観点から、幅広い研究者の参加を呼び掛け、相互の知識・情報の交換・交流を促し、討議を行うことで、史料に内在する可能性を引き出すことを目指す。

さらに、史料を読む過程をなるべく可視化して示すことで、歴史学の可能性を拓くことが期待される。

10. 研究の実施計画

- ・ 共通に利用する史料については、新たに謝金によりネイティブの研究者に翻刻を依頼し、なるべく公開する。討議の結果、良質な翻訳を完成させ、『東京大学史料編纂所研究紀要』等で公開する。

- ・ 年1～2回の研究会を開催して、そこで所内外の研究者が、研究報告をして、議論をする。2019年度は、たとえば、VOCの外交史における位置づけや、モノをめぐる文化史(material culture)などの問題について議論する一方で、EICの関連文書の研究状況を確認することを考えている。

- ・ 2020年12月オランダ／台湾から研究者を招いての国際研究集会開催(科研等との連携を図る)。

- ・ 欧文史料読解のための入門書の編集。

11. 研究成果の公開計画

- 1) 新たに翻刻した史料は、東京大学史料編纂所ウェブサイト成果物掲載ページもしくは『東京大学史料編纂所研究紀要』等で公開する。

- 2) 欧文史料読解のための入門書の出版。

12. 共同研究員にもとめる役割

- 1) 研究会での研究報告。

- 2) 今まで注目されていなかった史料の紹介、翻訳。

- 3) 欧文史料読解のための入門書編集への参加、助言。